

伊雑宮

伊雑宮は「いざうぐう」とも呼ばれ、三重県志摩市にご鎮座される、皇大神宮の別宮です。「万葉集」に大伴家持の「御食つ国志摩の海人ならし真熊野の小船に乗りて沖辺漕ぐ見ゆ」の歌が残るように、志摩地方は、風光麗しく海産物に富み、古くから朝廷と神宮の御料を貢進した御食国として知られ、「古事記」にも「島の速贄」(志摩から朝廷に納められる初物の海産物)として登場します。伊雑宮も古くから、天照大神の「遙宮」として広く信仰を集め、また地元の人々によって海の幸、山の幸の豊饒が祈られてきました。

伊勢の神宮

「お伊勢さん」と親しまれる伊勢の神宮は、二千年に及ぶ悠久の歴史を有し、皇室の御祖神をお祭りする宮として、全国からの崇敬を集めています。

正式名称は「神宮」であり、神宮は、皇大神宮(内宮)、豊受大神宮(外宮)の両正宮を中心として十四所の別宮、百九所の摂社・末社・所管社合わせて百二十五の宮社の総称です。これらの宮社は、広く伊勢・松阪・鳥羽・志摩の四市、度会・多気の二郡にわたってご鎮座しています。神宮では、日々、日本の平安や五穀の豊穰などをお祈りし、年間千数百回にのぼるお祭りが行われています。



十四所の別宮

神宮には、皇大神宮に荒祭宮、月讀宮、月讀荒御魂宮、伊佐奈岐宮、伊佐奈彌宮、瀧原宮、瀧原竝宮、伊雑宮、風日祈宮、倭姫宮の十所、豊受大神宮に多賀宮、土宮、月夜見宮、風宮の四所、合わせて十四所の別宮があります。

別宮とは、正宮(本宮)に対する別宮(別け宮)であり、正宮につぐ重要なお宮です。古くは天皇の勅書により、後には官符をもって、宮号を宣下された神社だけが宮号を称しました。現在も、年間のさまざまなお祭りや式年遷宮は正宮に準じて行われます。



所在地：志摩市磯部町上之郷374
電話：0599-55-0038
アクセス：三重交通バス 伊勢道路経由30分「川辺」下車徒歩約10分
近鉄志摩線上之郷駅下車徒歩約3分



皇大神宮別宮 伊雑宮



神宮司庁

〒516-0023 三重県伊勢市宇治館町1
電話 0596-24-1111(代)
<https://www.isejingu.or.jp/>



